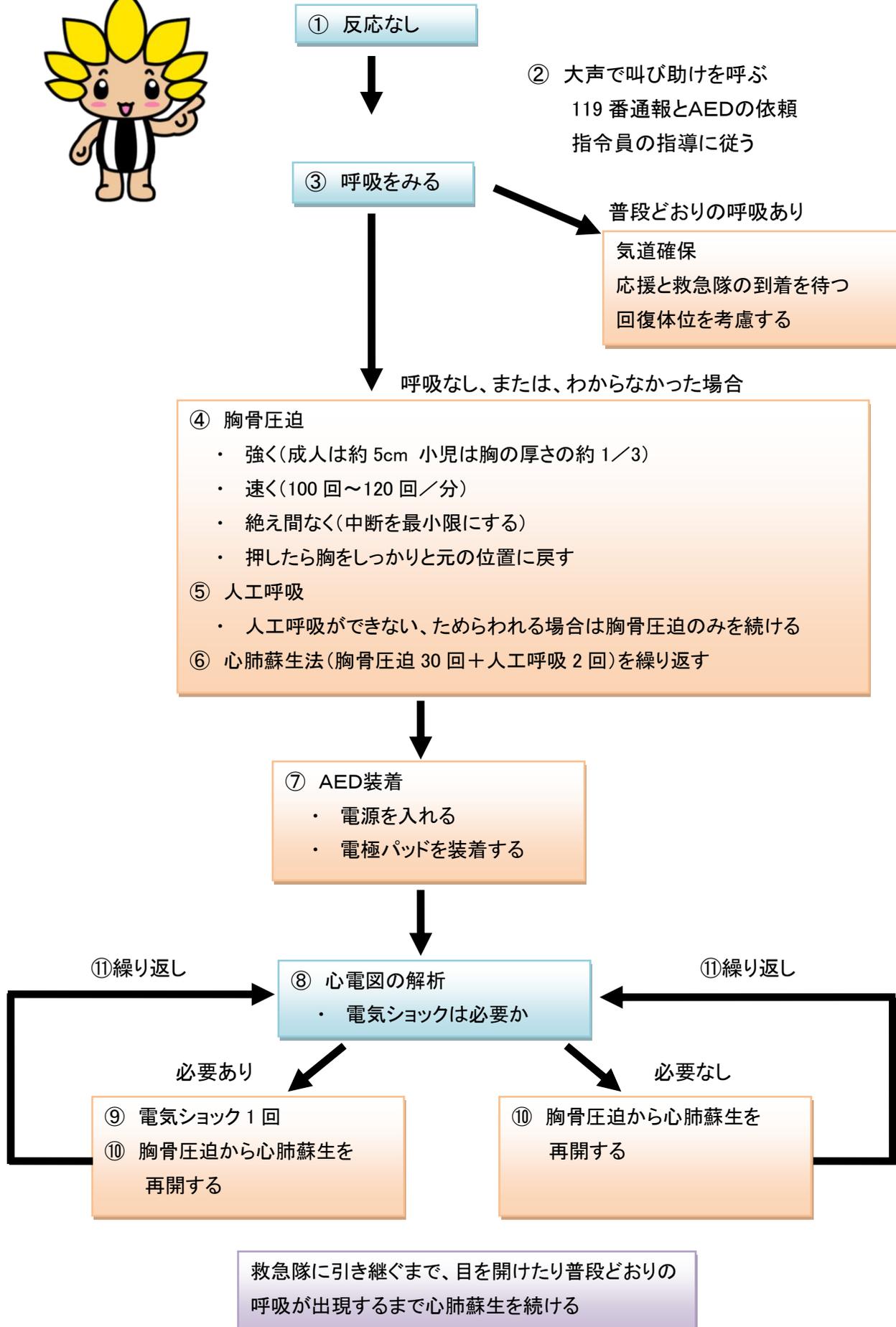


救命処置の流れ【心肺蘇生とAED使用】



心肺蘇生の手順

①反応（意識）を確認

- ・ 傷病者の耳元で声を掛け、肩を軽くたたく

②助けを呼ぶ

- ・ 協力者に「あなたは 119 番通報してください」「あなたは AED を持ってきてください」と具体的に依頼
- ・ 119 番通報し救急車を手配したら電話を切らずに助言や指示を仰ぐ

119 番通報のポイント

- ・ 何がおきたのかをはっきりと伝える
- ・ 場所、または住所をはっきりと伝える(わからなければ目標となるもの)
- ・ 名前と連絡先を伝える



③呼吸の確認

- ・ 10 秒以内で胸や腹部の上がり下がりを見て、普段どおりの呼吸をしているか判断
- ・ 動きがない場合やよくわからない場合、しゃくりあげるような途切れ途切れに起きる呼吸のときは普段どおりの呼吸なしと判断する

④胸骨圧迫

- ・ 普段どおりの呼吸がないときは、ただちに胸骨圧迫を開始
- ・ 胸の真ん中を手の付け根の部分で肘をまっすぐに伸ばし垂直に圧迫
- ・ 胸が約 5 c m沈むように圧迫する
- ・ 圧迫をしたら胸がもとの高さに戻るように圧迫を解除する。ただし、圧迫を解除する際に傷病者の体から手を離さないように注意

⑤人工呼吸

- ・ 気道の確保をし、のどの奥を広げて空気を肺に通しやすくする
- ・ 指で下あごの柔らかい部分を強く圧迫しないようにし、鼻をつまみながら空気が漏れないよう息を 1 秒かけて吹き込む
- ・ 胸が持ち上がるのを確認する

⑥心肺蘇生の継続

- ・ 胸骨圧迫を続けるのは疲れるので、協力者がいる場合は 1 ～ 2 分間程度を目安に交代する

AEDの使用手順

⑦AEDの到着と準備

- ・ AEDのふたを開け、電源ボタンを押す
- ・ 音声メッセージと点滅するランプに従う
- ・ 傷病者の衣服を取り除き、電極パッドをシールからはがして胸の肌にしっかり貼り付ける
- ・ 成人用と小児用の2種類の電極パッドが入っている場合、小学生以上には成人用のものを使用し、未就学児には小児用のものを使用する

⑧心電図の解析

- ・ 電極パッドを貼り付けると心電図の解析が始まり、傷病者の体には触れない

⑨電気ショック

- ・ ショックボタンが点灯し充電完了の連続音が出たら、傷病者から離れていることを確認しショックボタンを押す

⑩心肺蘇生の再開

- ・ 電気ショック後はただちに胸骨圧迫を再開
- ・ AEDを使用する場合でも胸骨圧迫の中断をできるだけ短くする

⑪AEDの手順と心肺蘇生の繰り返し

- ・ 心肺蘇生を再開して2分ほど経つと再びAEDが自動的に心電図の解析を実施

注意

電極パッドを貼るとき

- ・ 傷病者の肌が濡れている場合、タオル等でふき取る
- ・ 胸に貼り薬があり邪魔になるときは、はがして肌に残った薬剤をふき取る
- ・ 心臓ペースメーカーや除細動器が胸に植込まれている場合、胸の皮膚が盛り上がっておりそこを避ける